

<補足事項>

○単元の学習内容に関する掲示物（例）

【ゴールの姿】パスをつないでシュートし、
チームでたくさん得点することができる。

○フットホッケーの補助運動の例

(1) ナンバリングパス・・・動きながらのパス交換

- ・ゼッケン番号順に名前を呼びながら移動して動きながらパスを受ける、パスを出したら動くことを意識させ、必ずパックを1回止めてからパスをする。

(2) 2メンパス・・・向かい合っでのパス交換

- ・パックの止め方は、足の裏、足の内側があることを伝え、パックに触る瞬間に力を抜くことを意識させる。

(3) 2対1 鬼ごっこ

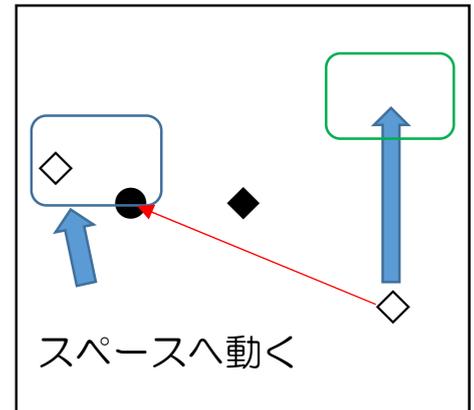
- ・パックを持っていないときに、すぐに空いているスペースに動くことを意識させる。

- ・おに（守り役）は、「時間（20秒程度）で交代」「とったら交代」などで、同じ人がずっと守備にならないように配慮する。◇・・・攻め役 ◆・・・守り役 ●・・・パック

- ・パスをする人の間隔は、10m程度が望ましい。

(4) シュート練習（ドリブルから）（パスから）

- ・パックの真横（もしくはやや斜め手前）に軸足を置くこと、軸足の向いた方向にパックが転がることを意識させる。
- ・パックが浮き上がらないよう、インサイドキックで蹴ることを意識させる。



○学校規模に応じた配慮点

【大規模校】

- ・合同体育でも対応できるように場や用具を増やす。（コート数、ボールやコーン、マーカーなど）

【小規模校】

- ・グループが組みにくい場合は、3、4学年の合同体育でグループ編成をする。

フットホッケーのルール例

- ◆ 縦11m×横18mのコート（2面）
- ◆ 1チーム4人編成（計8チーム）
- ◆ 4チームでコート1面を使う
- ◆ 「攻め」 「守り」 「観察」 「観察」
   
- ◆ 攻め：3人 守り：2人
- ◆ 1ゲーム4分（2分で攻守交代）
- ◆ 相手に触らない
- ◆ ドリブルは禁止

【攻めチームのルール】

- ◆ 3人で攻める。1人はサイドラインで待機する。
- ◆ 三角形のスタートポジション（マーカプレートの上）につく。守りの1人からQB（中央ポジション）がパスを受けて攻撃開始。
- ◆ パスやシュートがコートから出たり、守りからコート外にけり出されたりしたらスタートポジションに戻って再スタートする。
- ◆ 再スタート時、1人が交代で入る。（ビブスの番号順に交代する）
- ◆ コーンとコーンの間をパックが通過したら1点となる。
- ◆ パックを踏んでいる間は、守りチームから奪われることはない。
- ◆ パックを踏める時間は5秒までとし、5秒以内にパスやシュートをする。6秒経ったら再スタートとなる。（ゲーム中1人1回まで）

【守りチームのルール】

- ◆ 2人で守る。2人はサイドラインで待機する。
- ◆ スタートポジション（マーカプレートの上）につく。
- ◆ 再スタートになったら2人とも交代する。
- ◆ 攻めチームがパックを踏んでいる間はパックを奪うことはできない。

【観察チームのルール】

- ◆ 攻めのペアチームは、ペアの友だちのタブレット端末を使って、撮影したりオフザボールシートに記録したりする。

場の設定



Q
B

